

A 受給資格認定申請書 兼 収入状況届

別記第1号様式 (その1)

学び直し支援金

令和 年 月 日

東京都知事 殿

高等学校等学び直し支援金

(新たに受給資格認定申請を行う場合)高等学校等学び直し支援金(以下「学び直し支援金」という。)の受給資格の認定を申請します。
(既に受給資格認定を受けている場合)学び直し支援金の支給に関して、保護者等の収入の状況に関する事項について、届け出ます。

○在学する高等学校等が単位制の場合、以下の項目を必ず確認し、①～⑧のすべての口にレ点を付けてください。
(☑がない場合は、学び直し支援金を支給することができません。)

○在学する高等学校等が単位制ではない場合、以下の項目を必ず確認し、①～⑤、⑦～⑧の口にレ点を付けてください。
(☑がない場合は、学び直し支援金を支給することができません。)

- ① 高等学校等(修業年限が3年未満のものを除く)を卒業又は修了していません。
- ② 高等学校等を転学、中途退学したことがあります。
- ③ 高等学校等の在学期間が通算して36か月(定時制及び通信制の場合は48か月)を超えています。
又は、単位制の場合は、就学支援金の支給対象単位数が上限74単位数に達しています。
- ④ 平成26年4月以降に高等学校等に入学しています(就学支援金新制度の受給権者であったことがあります。)
- ⑤ 学び直し支援金の支給を受けた期間が通算して12か月(定時制及び通信制の場合は24か月)を超えていません。
- ⑥ 【再入学等した高等学校等が単位制の高等学校等である場合】
再入学等した単位制高等学校等の卒業に必要な単位として認定を受けた単位数、当該単位制高等学校等における就学支援金の支給対象単位数及び学び直し支援金の支給対象単位数を合算した単位数が74単位数を超えていません。
- ⑦ この申請書又は届出書の記載内容は、事実と相違ありません。
- ⑧ この申請書又は届出書に虚偽の記載があった場合は、東京都の求めに従いその全額を即時返還します。

(以下の空欄に生徒本人が署名してください。保護者等による代筆も可能です。記入に当たっては、別紙の「記入上の注意」及び「留意事項」をよく読んでから記入してください。)

就学支援金認定番号

- 013 -

※都内の私立学校で高等学校等就学支援金(以下「就学支援金」という。)を受給したことがある場合は、就学支援金認定番号を記入してください。

ふりがな			
生徒の氏名	姓	名	

生徒の生年月日	昭和 平成	年	月	日
---------	----------	---	---	---

生徒の住所	〒	都道 府県	市区 町村
-------	---	----------	----------

保護者等の電話番号	
-----------	--

生徒が在学する 学校の名称等	NHK学園高等学校	学校の種類・課程・学科 高等学校 通信制
	在学期間 平成・令和 年 月 日～ (うち支給停止期間等) 平成・令和 年 月 日～平成・令和 年 月 日	現在籍校で卒業に必要な単位 として認定を受けた単位数

【1. 学び直し支援金の受給資格取得年月及び過去の学校における在籍期間について】(※既に受給資格認定を受けている場合は記入不要です。)

①学び直し支援金の 受給資格取得年月	平成・令和 年 月 日	原則として、就学支援金の受給資格が消滅した月の翌月となります。 ※就学支援金の受給資格消滅と共に当該校を退学した場合は、再び高等学校等に在学した最初の月となります。 ※単位制の学校に在籍する場合で、学び直し支援金の支給対象単位数が1単位数以上であり、当年度の履修登録単位数が就学支援金の残支給対象単位数を超える場合は、当該単位の履修開始年月となります。	
②過去に別の高等学校等に在学していた期間	学校名 立	平成・令和 年 月 日 ～平成・令和 年 月 日 (うち支給停止期間等) 平成・令和 年 月 日 ～平成・令和 年 月 日	学校の種類・課程・学科
③過去に別の高等学校等に在学していた期間	学校名 立	平成・令和 年 月 日 ～平成・令和 年 月 日 (うち支給停止期間等) 平成・令和 年 月 日 ～平成・令和 年 月 日	学校の種類・課程・学科

※学校受付日 令和 年 月 日